

組織現勢 (8月1日現在)	
組合員数	19,407人
出資口数	161,846口
6・7月の新規加入	16人
6・7月の増資口数	118口

No. 450

城南の保健

発行所
城南保健生活協同組合
本部事務局 大田区大森東4-6-15-101
TEL (3762) 0266
振込銀行 さわやか信用金庫大森支店
口座 (普) 0469459
発行 「城南の保健」編集委員会
年6回発行・定価1部 30円

6月29日(土)城南保健生協 第49回通常総代会終了

全ての議案を賛成多数で採決

第1回理事会にて代表理事として
理事長に**野口修二**
専務理事に**伊藤豪**を選出

野口修二
新理事長挨拶



地域での城南保健生協の存在意義を確立しよう

6月29日に開催された第49回通常総代会で、前任の植田榮一理事長のあとを引き継ぎ理事長に就任しました。私は、学生時代は体育学部で健康学を専攻したこともあって、大田病院職員時代から城南保健生協の班会や行事に参加する機会がありました。その中で健康を願う組合員さんから多くのことを学ぶことができました。

「健康づくり」と言っても、生活習慣病やフレイルや認知症を予防するといった体の健康だけではなく、困りごとを相談できる場所や相手がいる、安心感といった心の健康も健康づくりの大事な要素だと思います。(孤立は喫煙と同程度の健康リスクとされています)。そういう意味では、当

生協の「健康づくり」活動はまだ不十分だと思っています。基礎となる支部の活動や班活動は活発な支部もありますが、全体的に見ればまだまだ広がっていかねばならないと思っています。現在、城南保健生協の組合員数は約19,000人ですが、全ての組合員さん同士が顔の見える範囲で班を作り、知り合いになることが大切です。当生協は事業として介護事業(訪問介護と認知症グループホーム)と薬局事業を行っています。どちらも地域の医療福祉を支える大事な事業ですが、毎年引き下げられる薬価や介護人材不足に対応して地域の大切な財産である事業活動を守っていくかなければなりません。また、城南保健生協の組合員は城南福祉医療協会と城南医薬保健協働の「共同組織」として診療所や病院、薬局の利用、資金の提供、運営への意見表明、社会保障推進運動などで支えています。組合員のみなさんの意見をもっと二つの法人に届けていくと同時に、診療

所や薬局をもっと利用していただけるように区民健診の組織や各種予防接種の申し込みを組合員のみなさんに届けることも生協の役割です。

さらに、マイナ保険証の強要、防衛予算の拡大などこのところの政府がすすめる異常な強行政策を組合員のみなさんの声を集めて抗議していくことも広い意味では健康づくりにつながっていくと思います。

今年5ヵ年計画を策定することを総代会で決議しました。組合員活動をどう広げていくのか、事業活動をどう守っていくのかについての本格的な議論を始め、地域での保健生協の存在意義を確立しアピールしていきます。

伊藤豪
新専務理事挨拶



みなさん、こんにちは！

今年の6月29日に行われた通常総代会で新しい役員体制になり、新専務に就任しました伊藤豪(いとうごう)と申します。誰もが安心して健康に住み続けられるまちづくりをめざす城南保健生協をさらに発展し

ていくためにその先頭に立ちたいと思っています！

私と城南保健生協の出会いが2005年に2年間「城南ドルフィン」という水泳サークルの指導員を経て、その経験から2012年に城南保健生協に入職し「城南ドルフィン」の事務局員をはじめ、地域の健康づくり活動の組織、健康体操指導員、文化スポーツ行事の事務局、子ども食堂事務局長、社保平和活動の組織など城南保健生協を通じて、たくさんの人と関わりいろいろな経験をさせていただきました。これらの経験に共通して思ったことは組合員さんや地域にとって「無くてはならないかけがえのない生協」ということです。そのためにもしっかり経営を守りつつ、これまでの活動をみなさんさらに発展させ誰もが健康で安心して住み続けられるまちづくりを進めます！

植田榮一さん
理事長退任挨拶



今期で理事長職を退任することになりました。専務理事11年、理事長12年、長年のご支援、ご協力に心

より感謝申し上げます。振り返ってみますと、私が城南保健生協に移籍した2001年9月は介護保険制度スタート2年目で、そこそが行け行けドンドンという感じで、訪問介護事業所の拡大、グループホーム開設準備など、職員・組合員一丸、行政の後押しもあって事業拡大に邁進した時期でありました。2000年の介護保険制度の開始前後にホームヘルパー2級養成講座を19回にわたって開催し、300人以上のヘルパーさんを生み出し、その方たちの力も借りて訪問介護・認知症対応のグループホームを中心に、介護事業を大きく展開してきました。2002年度には債務超過を克服して、経営改善も順調に進むかと思われましたが、その後、毎回の薬価引き下げや3年ごとの介護報酬見直し、介護職員不足などで経営的には一進一退を繰り返しています。

在任中の最大の懸案は老朽化した大田病院の改築問題でした。法人全体で移転先を懸命に探しましたが適地はなく、困った時に山海苔店の土地に保育園を移転して、その空いたスペースを順次活用して現地建て替える案が浮上りました。同時に保育園の隣地に2ユニットのグループホーム建

設もスタートし、保育園の移転とともに、私たち城南三法人の中心となる大田病院の建て替えをすることが出来ました。

これからも医療・介護を中心とした社会保障分野は人口減少、高齢者急増によりいっそうの拡充が求められます。新体制のもと、平和こそ健康、誰もが安心して住み続けられるまちづくりの運動を一緒に進めて参ります。どうぞよろしくお願いたします。

00年4月 「ヘルパーステーション すすらん」開設
「ゆたか調剤薬局」居宅支援事業所登録
01年11月 「ヘルパーステーション すすらん蒲田」開設
02年2月 「ヘルパーステーション すすらん・ゆたか」開設
03年12月 認知症対応「グループホーム虹の家みちづか」開設
04年1月 「ヘルパーステーション すすらん馬込」開設
04年4月 「ヘルパーステーション すすらんうのき準備事務所」開設
09年1月 認知症対応「グループホーム虹の家しおかぜ」開設

総代会で確認された2024年度活動の柱

- 1 「支部の力」を強化して、地域・他団体とのつながりをさらに深化させ、相談活動を重視し、健康で楽しく誰もが安心して住み続けられるまちづくりを進めます。
- 2 戦争の道を切り開く軍拡を許さず、平和憲法をまもる活動を進めます。
- 3 人権としての社会保障制度の充実を求める運動にさらに取り組みます。
- 4 組織活動と事業活動を一体的に進め、経営基盤の強い生協を目指します。
- 5 三法人の「共同組織」としての役割をさらに発揮し、仲間増やして前進します。
- 6 「2030年に向けた組合員活動のあり方提言」を基礎に5ヵ年計画を作成します。

事務局より
植田榮一さんは、理事長は退任となりますが、「理事」として引き続き奮闘していただきます。

今総代会において、7名の理事が退任し、総代会当日退任理事を代表して橋内信一さんから挨拶がありました。退任された理事は
浅見 美代子さん
石渡 光史さん
江部 謙五さん
川居 直美さん
橋内 信一さん
小林 太平さん
吉田 由紀さん です